

正会員・特別会員の皆さまへ



ヒープの仲間と
仲良くなろう！

わいわい多様を
楽しみましょう

① 1月月例時に、ヒープ会員のみんなで

簡単なワークショップをします！

② そのためにこの「事前のチェックシート」を
お送りします！

「気づき」をメモ
してこよう！

- ⇒まずはP 2～4 をみてください
- ⇒「本音で共創ステップチェックシート」はP 5～7
- ⇒そこからの「気づき」をP 8 にメモしてみよう
- ⇒WS当日はお手元にもって参加くださいね
(見せる必要はありませんのでご自身用に気楽に)



このチェックシートは、**チェックをすることが目的ではなく**
「多様性を大事にして新しい価値を生み出す社会にしていこう」ということが目的です。
できているいないに一喜一憂せず、ぜひいろいろな「気づき」を得てみてください！

この「本音で共創ステップチェックシート」は

●「本音で共創する組織（チーム）づくりへの挑戦

生活者視点の価値を生みだす社会へ

進化する実践BOOK#1」

（以下「進化する実践BOOK#1」と表記）

とあわせて使うものです



[進化する実践BOOK『本音で共創する組織\(チーム\)づくりへの挑戦』発行、フルバージョンはこちらから！](#)

◆「進化する実践BOOK#1」は

「新しい価値」を創り出すための「本音で共創」する組織・チームづくりに向けてみんなで、自分事として挑戦していくためのものです。

“進化する”の名のとおり、みんなのチャレンジにより進化していきます。



「進化する実践BOOK#1」を現場で具体的に活用しやすくするために、この「本音で共創ステップチェックシート」を創りました！



様々な研究から、

「新しい価値」を創り出していくには、土壌となる組織・チームづくりが鍵である

ことが明らかになっています。

この組織全体の力の高さは、企業価値の向上に直結し、個々人のやりがいにも繋がります。



◆「本音で共創ステップチェックシート」の3つの使い方

①自分自身でチェックしてみる

チェックしてみて気づいたことは何でしょう／気づきを基に自分がやってみたいことを言語化してみましょう
実践を重ねながら定期的にチェックしてみることで、自分の変化に気づくこともできます

②まわりの人と共にチェックして対話してみる

お互いの気づきをシェアしてみましょう／対話を基にそれぞれがやってみたいことを言語化してみましょう
お互いの実践を応援することで、チャレンジを楽しくすすめながらさらに対話を生むことができます

③チームで「チェックシートを活用したワークショップ」をやってみる

チームでできる「チェックシートを活用したワークショップ」開発中

ワークショップテーマ：「本音で共創ステップチェックシート」で“やってみよう！”を見つけよう（仮）

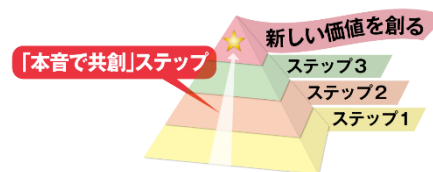
チームで気づきをシェアし対話することで、チームで応援あいながら実践をしていくことを目指しています

★「本音で共創」ステップとは

⇒「**進化する実践BOOK#1**」を確認ください

「新しい価値を創る」ことをめざした3段階のステップです。
組織・チームの状況によって注力するステップが異なり、
状況を見極めながら3つのステップをしなやかに行き来
することになります。

このステップを小手先のテクニックとしてとらえるのではなく、
本気で考え方や姿勢を変えたいと思うことが重要です。



- 【ステップ1】安心をつくる
- 【ステップ2】本音で対話する
- 【ステップ3】本質を追求する



◆「本音で共創ステップチェックシート」のチェックにあたり →P5～7

●チェックシートの各ステップは、「本音で共創」ステップに対応しています

*「本音で共創」ステップ⇒「進化する実践BOOK#1」を確認ください

まず入り口として、この「本音で共創ステップチェックシート」をチェックしてから「進化する実践BOOK#1」をしっかり確認するという方法も有効です。

●各ステップの「チェック項目」は、“気づきを得る”ためのものです

チェック結果を点数付けするものでも点数で判定するものでもありません。

気軽にチェックできるよう、「できている」「できていない」のシンプルなチェックにしています。

チェックしてみることでさまざまな気づきがあると思います。

気づきを基に、まずは「自分が変わる」視点で“やってみたい・やってみよう！”を見つけてみましょう。

●「チェック項目」ごとに記載している「例」は、“たとえばこういうこと”という具体的な例示です

あくまで例示ですので、「こうしなければならない」ということではありません。

具体的にはどうということかをイメージする助けにしてください。また、実践しようと思ったときの参考にすることもできます。

自分やチームの状況にあわせて自分自身のやり方を工夫しながら実践チャレンジしましょう。

●「本音で共創ステップチェックシート」も進化します

このチェックシートは完璧な完成版ではありません。

みんなのチャレンジでうまくいった具体的事例などなどぜひシェアください、ともに進化していきましょう！

「本音で共創」ステップ

新しい価値を創る

ステップ3

ステップ2

ステップ1

◆「本音で共創ステップチェックシート」のチェックが終わったら →P8

「気づき」やそこからの「やりたい・やってみたい！」などを言語化しましょう！

さあ、次ページからの「本音で共創ステップチェックシート」でチェックしてみましょう！

★「本音で共創ステップチェックシート」【ステップ1】安心をつくる



Step1	各ステップの要素	チェック項目	自己評価	
1-①	威圧的な態度をとらない 発言を抑えるような態度での不安を除去する	<ul style="list-style-type: none"> ● 相手を尊重する呼びかけや言葉遣いをする 例：呼捨てをしない。「～をやっておけ」などの命令口調を使わない。 ● 「相手に失礼のない姿勢で話を聞く」 例：腕組みやのけぞって座るなどの態度で話をきかない。 ● 相手のミスに対しつこく問い詰めるなどしない 例：長時間説教をするようなことをしない。 	できている	できていない
1-②	不機嫌な顔をしない 攻撃される不安、不活性な場への不安を除去する	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の感情をコントロールし、不機嫌な顔をしない 例：月曜の朝や、嫌なことがあった日なども不機嫌な顔をしないようにする。 ● 発言者の話をつなずくなど同意や関心を示しながら聞く 例：発言者を見て話をきく。関心がないような表情や態度をしない。 特にオンラインでは、笑顔やうなずきなどリアクションを大きめにとるようにする。 ● 笑顔を意識する 例：口角をあげてみる。口だけでなく目でも笑う。マスク着用時も笑顔が伝わるようにする。 	できている	できていない
1-③	評価や否定をしない 無知レッテル、無能レッテルの不安を除去する	<ul style="list-style-type: none"> ● 失敗したときに、原因をその人の性格・人格に紐づけない 例：×「だからお前はダメなんだ」「頭が悪いのか」「少し考えれば分かるでしょう」 ● 人に対して先入観をもたない 例：×「あの人はこういう人だから」「若い人/年寄り/女性/男性はみんなこうだね」 ● 人の良い面に目を向ける 	できている	できていない
1-④	同調圧力をかけない 否定者レッテル、邪魔者レッテルの不安を除去する	<ul style="list-style-type: none"> ● 指示にしたがってあげばよいというような発言をしない 例：×「口答えはしないように。」「いわれたとおりに」「わかまえる」「余計なことはしないでおこう」 ● 会議で、反対意見などがでたときに不機嫌な態度や発言をいさめることをしていない 例：「そういう観点だと違う見方もできますね」 ● 共感を示す話し方を意識する 例：「そうだね」「なるほど」 	できている	できていない
1-⑤	場を明るくする ポジティブにみんなが話したくなるような場づくりをする	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑談を大切にするなどメンバーとのコミュニケーションを図っている 例：普段から積極的に話しかける「最近どうですか？」「困っていることはないですか？」 ● 感謝の気持ちを積極的に伝えている 例：「対応ありがとうございます！」「いつも良くていただけて助かっています！」などと直接言う、メールなどで伝える ● 場の雰囲気や暗い、硬いときなどに、雰囲気を和らげる発言や行動をとる 例：みんながだまってしまっているときに、何かきっかけとなる発言を試みるなど。 	できている	できていない

★「本音で共創ステップチェックシート」【ステップ2】本音で対話する



Step2	各ステップの要素	チェック項目	自己評価	
2-①	多様な意見を歓迎する 結論を急がずに多様な意見を肯定的に受け入れる	<ul style="list-style-type: none"> ●意見が求められた時は、ちょっとしたことでもよいので発言する 例：「〇〇さんの意見、なるほどと思いました」 ●多様な意見がよりよいアウトプットに繋がることを常に共有する 例：「いろんな角度から意見が出ると議論が深まりますね」 ●異なる意見や場をひっくり返すような意見が出たときにも歓迎する 例：「なるほど、その視点は気づきませんでした。みなさんはどうですか」 ●意見を無理に一つの方向にまとめる空気になったときは、欠けている視点がないか立ち戻る 例：「欠けている視点がありそうな気がします。みなさんはどうですか？」 	できている	できていない
2-②	他者を尊重する 役割や機能としてではなく、人間として尊重する	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の気持ちを考える、相手の状況を思いやる 例：相手が心地よく、その人の強みを発揮できるように関わる ●ひとりひとりの思いと、その人の背景にも関心を持ち敬意を払う 例：なぜそう思うのか、どうしてそうするのかを聞いてみる。 ●その人の「生活者視点」からの考えや問題意識を大事にする 例：「その考えって本来はとても大切ですね」 	できている	できていない
2-③	他者の意見を傾聴する 耳・目・心を傾け、共感と関心を持って真摯な態度で聴く	<ul style="list-style-type: none"> ●人の話を遮らない、最後まで聞く ●相手を理解したいという姿勢を見せる（身体だけでなく、心に向ける） ●人の意見は傾聴し、理解に不安がある時は理解度を確認する 例：「こう理解しましたが間違っていますか」 ●意見が軽視されたり、途中で話が遮られそうになっている場面に出くわしたら、意見を守る 例：「〇〇さんならではの意見だと感じました。別の場面でも活用できそうです。」 例2：「〇〇さんの意見が途中でしたね。もう少し聞きたいので続けていただけますか。」 	できている	できていない
2-④	他責発言をしない 全員が人のせいにならず、責任を持って考える	<ul style="list-style-type: none"> ●担当に関わらず、自分事として考える 例：×「それ、私の仕事じゃないから」「私じゃなくてリーダーの責任だから」「自分には関係ないことなので」 ●問題が起きたときに誰の責任が追及するよりも、まずどう解決するかを考えている ●みんなで作り上げる空気（意気投合）を大切に 例：「みんなで取り組みましょう」 ●アイデアを出した人が、「やってみて」と役割を押し付けられそうになったら空気をかえる声掛けをする 例：「みんなで取り組みましょう」「困ったことがあったら声をかけてください」 ●他人事として考える人がいたら、協力できることを考えるきっかけをつくる 例：「こんなところは私たちでも手伝えそうですね」「我々としてここは何ができるでしょうか？」 	できている	できていない
2-⑤	立場に左右されない 発言者の立場にとらわれず、意見として客観的に受け止める	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の立場によって意見の受け止め方や対応を変えない 例：上司/部下、正社員/派遣/パートなど、誰の発言であっても熱心に聞く。誰が言ったかではなく、何を言ったかが重要 ●上司や権限のある人の発言に対しても、自分の意見が言える ●「自分の意見なんて」と思う気持ちから一歩踏み出し発言してみる 例：「私の立場でしか見えていないかもしれませんが、私はこう思います」 ●何も発言しない、発言しづらそうなメンバーがいたら声をかける 例：「今日はまだ〇〇さんの意見聞けてないですが、是非きかせてください」 	できている	できていない

★「本音で共創ステップチェックシート」【ステップ3】本質を追求する



Step3	各ステップの要素	チェック項目	自己評価	
3-①	パーパスを意識する 組織の志や、そもその目的を共有し、常に意識を向ける	<ul style="list-style-type: none"> ● 組織・チームのパーパスや自分の仕事の目的を理解している 例：「パーパスは●●だ」と常に確認できる状態にしている。 ● 組織・チームのパーパスを実現する行動を具体化している 例：「パーパスを実現するためには何をすればいいのか」まで落とし込んでいます。 ● パーパスからずれてきたと感じたら周りに再確認する 例：「そもそも私たちの目的ってなんだったっけ」 	できている	できていない
3-②	本質を考える 前提や思い込みを外し、真の要因まで深めて本質的なものを掴み取る	<ul style="list-style-type: none"> ● 従来やり方が本当に正しいのか考えるようにしている 例：前例踏襲で仕事をこなすのではなく、「そもそもこのやり方ってほんとうに正しいのかな」とゼロベースで見直している。 ● 手段と目的を混同せず、「なぜ？ なのため？」を繰り返して本質にたどりつく 例：「目的に向かって手段はどんどん変えていい、じゃあこの手段はなのため？」と自問自答したり、周りに投げかけたりしている。 ● 組織・チームが固定観念にとらわれていないか確認する 例：その前提って絶対かな」と周囲へ投げかけかける。「そんなの常識だよ」と言わない。 	できている	できていない
3-③	異なった視点から見直す 異なった視点や健全な衝突を歓迎し多面的に検討する	<ul style="list-style-type: none"> ● 個人の中で多様な視点から考えて掛け合わせるなどしている 例：「今までの考え方と異なる考え方と両方OKにするにはどうしたらいいだろう」 ● 組織・チームで意図して多様な視点から考えている 例：「違いはシナジーの源」「ほかの人たちの視点も入れて考えよう」 ● 意見の衝突が起きても怖れずに、シナジーに向けて意識を共有している 例：「今私たちシナジーを創ろうとしているね」「もっといい第3案をいっしょに探そう」 	できている	できていない
3-④	挑戦から学ぶ 正解のない問題にも、挑戦から学び進化しようという姿勢を持つ	<ul style="list-style-type: none"> ● 自身の挑戦を促している、挑戦することを恐れない 例：問題が起きたら成長のチャンスだと考える ● 変化の激しい状況にも動いてみて見直していく 例：計画ありきではなく、状況ありきで迅速に動く ● 挑戦からの学びを次の挑戦に繋げている 例：「この挑戦からの学びはなんだろう？」「その学びを得た私たちの次の挑戦は？」 	できている	できていない
3-⑤	社会的な価値をめざす 生活者視点・社会的視点を常に持ち、信念を持って新しい価値に繋げる	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活者視点・社会的視点を意識している 例：「社会はこう変化してる、生活者は？ 社会課題は？」と常にアンテナをたてて行動している。 ● 長期的視点を大切にしている 例：「子供たちの未来にとってどうなんだろう」 ● 生活者、企業、社会の共創価値を追求している 例：「生活者と共に新しい価値を創り社会をよくしていくにはどうしたらいいだろう」 	できている	できていない
3-⑥	本気でやりきる 価値を生むことに情熱を持ち、お互いの信頼を育み、わくわくやりきる	<ul style="list-style-type: none"> ● ミッションをやりきる強い意志をもっている 例：「これやりきるこの私たちにとっての意味は●●」と言語化している。 ● メンバーが一丸となって本気で取り組む工夫をしている 例：「私たちは●●を笑顔にするために取り組んでいるね」「それに向かって困っている仲間がいればお互い力になろう」 ● ゴールイメージや達成したときの喜びを共有して進めている 例：「これをやりきったらこんないいことが起こるね」 	できている	できていない

◆「本音で共創ステップチェックシート」のチェックが終わったら言語化してみましょう！

★今回「本音で共創ステップチェックシート」をチェックしてみて

①気がついたことや学び、課題だと感じたことなどがありますか？

②本音で共創していくために、今後取り組みたいこと、挑戦したいことなどがありますか？